



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第338号

2017年10月30日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

「核兵器禁止条約」の採択は大きな希望

国連会議での「核兵器禁止条約」の採択は、被爆者をはじめ核兵器のない世界の実現を願うすべての人々に大きな希望を与えています。広島で被爆したサーロー節子さんが国連会議で「この日を70年以上待ち続けていました」と声を詰まらせた姿は世界の人々に共感と感動を広げています。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）が、核兵器を歴史上初めて違法化した条約と、採択にあたって広島、長崎の被爆者・市民とすすめた活動が評価されノーベル平和賞を受賞したことは記憶に新しいところです。



市議会は「核兵器廃絶意見書」を不採択

「核兵器廃絶の願いを八千代からも大きく前進させよう」と「核兵器廃絶への取り組み推進を求める意見書」を日本共産党、新みんなの広場など6名の議員が9月議会に提出しました。しかし、賛成者少数で不採択となりました。「意見書」に反対した自民、公明、市民クラブ、新未来などの議員から反対理由をのべる討論は行われませんでした。「意見書」への反対は、八千代市民の核兵器廃絶の願いを踏みにじるものと言わざるを得ません。

「あなたはどこの国の総理ですか」－被爆者代表

唯一の戦争被爆国である日本の政府は、国連の「核兵器禁止条約」の会議に参加せず、ICANのノーベル平和賞受賞についてもノーコメント。そのうえ「核兵器禁止条約」に触れない「核兵器廃絶決議案」を国連に提出し「核兵器禁止を弱体化するもの」と各国から批判を受けました。

日本政府の対応に被爆者団体代表は「あなたはどこの国の総理ですか」と安倍首相に核兵器禁止条約への参加を迫りました。

市は「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを

被爆者団体をはじめ世界の平和・民主団体が「核兵器禁止条約」の締結に向け、2020年までに世界で数億人の署名を目標に、国連提出の「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでいます。今年8月、八千代市も加盟している「平和首長会議」（162カ国7453都市加盟）第9回総会で各都市が自国政府に対し「核兵器禁止条約への参加」を働きかけていくことを確認しました。

他市では庁舎内への署名台設置やホームページで紹介しています。八千代市は「平和都市宣言」も掲げています。署名推進に具体的に取り組むことが求められます。